

PREVIOUS

2018 Autumn プレシヤス増刊

特別企画 希代のウエルドレッサー
チャールズ皇太子の
服装術・徹底解剖

男の語り
マガジン

特別付録
ロンドン在住イラストレーター
SLOWBOY
き下ろしイラスト
製ポストカード

10ページまるごと大特集

装い、名品、マナー。
っておくべき52の嗜み

2018年流 ジェントルマン A to Z

ドも愛したドライマティーニ / 夏日漱石の手紙術 / チャーチルの愛 / ダッフルコートはフレンチが気分 / ドレスシャツは
デュラーカラー復活 / オムレツがうまくつくれてこそ紳士 / 伊達男がネイビースーツに惹かれるワケ / 男の貌は葉巻が育てる
ンダーソン&シェパード、ドレープの秘密 / 京都と銀座・紳士の散歩術 / トヨタ「センチュリー」に乗らずに死ねるか etc.

T

TIE
【タイ】

一発でキメろ。

巨匠
フランコ・ミヌッチ
直伝の
プレーンノット!

ジャカード織りの
やわらかな感触が絶品!

小紋柄や色の具合、織り方などに味わい深い表情が備わる「アット ヴァンヌッチ」のタイ。オーナーを務める加賀氏の好みも反映したジャカードのコレクションが真骨頂である。タイの作りは、生地を七つ折りにしたセッテピエゲと、シンプルでクラシックな製法の三つ巻きを展開する。手縫いによるしなやかさも抜群だ。大剣の幅はすべて8cm。ノットをつくったタイ ¥30,000・右から¥30,000・¥23,000・¥30,000・¥25,000(レガーレ〈アットヴァンヌッチ〉)



達人の
MY
STYLE



談・加賀健二 (セブンフォールド社「ディレクター」)

タイを締めるときは、迷わずに1度でノットを決めます。プレーンノットのいちばん綺麗な結び方を見せてもらったのは、紳士服における師匠のフランコ・ミヌッチさん。自分なりの解釈も含めて、彼の結び方を受け継いでいると思います。鏡は絶対見ない。ノットの締め具合を手の感覚で、どれだけキチッと締められるか。きつすぎず、ゆるすぎず、というさじ加減にこだわっています。

ミヌッチさんは言っていました。「鏡を見ながら、神経質にノットをいじるのは、いかしていない」と。鏡を見ずにサッと締める。「スマートでいいじゃないか」ということです。

シャツの襟部分のタイスペースや、襟にステイが入っているかどうか。ジャカードとプリントでは生地の厚みが違います。そういった条件を含めて、自分の感覚で締められれば、洒落者です。

タイを締めていれば、必ずしも紳士というわけではありません。しかし、タイを締めることで、常に穏やかに、感情的にならずにいられる。それが、ジェントルマンとして大切なことです。

PROFILE 1964年生まれ。「タイユアタイ」の日本での立ち上げに参画。日本で随一のタイを知り尽くしたプロフェッショナルだ。

大剣よりも小剣を長く締めるスタイルは、紳士服の師匠であるフランコ・ミヌッチ氏譲り。タイは長さ152cmを選び、小剣を5cmほど長くする。「少しずれている感覚が、洒落ていると思います」。